

会場演出の立役者 江戸の芸商人

江戸時代中期、街道は諸国を行き交う商人たちであふれておりました。彼らは、より商品が売れるように常に工夫をこらし、研鑽を重ねます。その結果うまれたのが、多くの人の目を集まるための、独自の芸です。ある者は唄い、ある者は楽器を奏で、ある者はおどけた仕草で集まった人々を沸かせます。そんな「芸商人(げいあきんど)」と呼ばれた人々を再現し、当時の人と人との親密なふれあいを演出するのが、「江戸の芸商人」の会場演出です。遊園地やテーマパークの会場演出や各種イベントに大好評です！



■ 芸商人の種類

「飴売り」「風車売り」「鳥笛売り」の3名が基本のパターンです。(上記写真左から)

これ以外に、ご要望によって「風鈴売り」「荒物売り」「花売り」「大根売り」などのご注文も承ります。

持ち道具の都合上、ご要望にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

■ 実施にあたって

*1日 会場の広さにもよりますが、30分程度のグリーティングを3回程度の実施が基本です。(応相談)

*上記の掲載写真は『イメージ写真』です …衣裳、男女比など変わりますのでご了承下さい。

■ 必ずご確認を

「江戸の芸商人」は、基本的に「物販」が絡むイベント(それを含めたパフォーマンスとお考えください)です。

主催者側で商品を買っていただくか、こちらの売上とするか…など、事前の確認が必要です。